

一般社団法人国際再生医療普及協会  
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2022年11月25日（金）14：50～15：15

開催場所：千葉大亥鼻イノベーションプラザ 1階/web

|   | 摘要                                  | 氏名             | 出欠 | 利益相反 |            |
|---|-------------------------------------|----------------|----|------|------------|
|   |                                     |                |    | 医療機関 | 委員会<br>設置者 |
| 1 | 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家      | 石井 伊都子         | ×  |      |            |
|   |                                     | 鈴木 邦子          | ○  | 無    | 無          |
| 2 | 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者      | 齋藤 康<br>※委員長   | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 落谷 孝広          | ×  |      |            |
|   |                                     | 寺井 崇二          | ×  |      |            |
| 3 | 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）            | 中林 正雄          | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 竹本 稔<br>※技術専門員 | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 佐野 明彦          | ×  |      |            |
| 4 | 細胞培養加工に関する識見を有する者                   | 木田 泰之          | ○  | 無    | 無          |
| 5 | 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家 | 中村 智広          | ○  | 無    | 無          |
| 6 | 生命倫理に関する識見を有する者                     | 川上 祐美          | ×  |      |            |
| 7 | 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者             | 林 邦彦           | ×  |      |            |
| 8 | 前7号に掲げる者以外の一般の立場の者                  | 宮内 明子          | ○  | 無    | 無          |
|   |                                     | 中山 ちはる         | ×  |      |            |

※中村委員は審議採決には不参加

配付資料（事務局初回受領年月日；2022年8月31日）

資料1 様式第三（第三十七条関係）（2022年8月31日）

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、齋藤委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

議題：「慢性疼痛緩和を目的とした自己脂肪由来間葉系幹細胞治療」の提供計画における定期報告について

結果：「適」

医療法人社団みき会サンフィールドクリニックより、本件について概要の説明が行われた。

医師が患者にヒアリングした際には、改善していると感じているというコメントがあるが、NRSの値には反映されないことがあった。

一方でSF-36において、値に変化はなかったが、「満足している」という患者もいた。

患者自身の自覚と各評価における点数変化の不一致については、今後検討していきたいとのこと。なお、当クリニックでは、従前より海外からの患者が多く来院されていたが、当該期間は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外からの患者は少なかった。従って、全体評価（患者自身の自覚と各評価における点数変化の不一致）が言語（訳）に起因しているということではないと考えている。

審議の結果、委員全員一致により「適」とする。

以上